

会議名	第4回新城地域協議会		公開
日時	令和5年6月29日(木) 午後7時00分～午後8時35分	場所	新城市役所 本庁舎4階会議室
出席者	(委員) 権田康之、西尾泰昭、矢賀美紀代、鈴木敏章、伊藤哲夫、清水利高、 今泉澄夫、高木猛至、丸山哲也、中川享子、今泉克英、後藤國與、 鈴木雅晴、白柳明美、今泉光俊、浅岡勝、大瀧章義、沼田宣、 今泉栄、畠山恵美子		
	(事務局) 市民自治推進課：杉本参事、宮本主査 新城自治振興事務所：今泉所長、近藤主任		
欠席者	佐本達俊、松井利文、村田博和	傍聴者	なし
配布資料	次第 資料1：令和6年度 新城地域自治区予算検討イメージ 資料2：地域自治区予算について 資料3：新城市地域自治区予算事業計画策定要綱 資料4：新城地域自治区予算の進め方 資料5：第1回 地域自治区予算分科会 報告 資料6：新城地域協議会だより 第45号 令和5年度 新城地域自治区地域活動交付金審査結果 第2回新城地域活動交付金分科会 要点記録		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

委員23名中20名の出席により会議成立の報告及び会議録署名委員の指名
(沼田宣委員、今泉栄委員、畠山恵美子委員)

2 議事

(1) しんしろ地域計画の改定について

第2回新城地域協議会【中止】の資料として配付した「しんしろ地域計画」及び
第1回地域計画分科会 要点記録について、事務局より説明を行った。

質疑において、22頁の「交流する場」における新城市中部体育振興会の名称の
誤りについて指摘があり、修正を行った。

その後に採決を行い、しんしろ地域計画の改定が可決された。

<主な意見等>

- ・22頁の「交流する場」における中部地区体育振興会という名称の団体ではなく、
新城市中部体育振興会の誤りである。

(2) 地域自治区予算の方針について

資料1から4を用いて、事務局より地域自治区予算の概要とスケジュールについて
説明を行い、地域自治区予算分科会 委員長より、第1回地域自治区予算分科会での
検討結果について報告を行った。

その後、採決をとり、第1回地域自治区予算分科会で検討された方針のとおり令和6年度地域自治区予算事業を協議していくにあたり、以下の事業について予算の積み上げを進めて行くこととした。

1 各行政区の要望

- (1) 地域安全灯設置費補助事業 …… 地域安全灯設置費への上乗せ補助
- (2) 交通安全対策事業 …… 交通立ち番等の備品整備（帽子や旗等）
- (3) 自主防災組織防災活動援助事業 …… 防災資機材等の整備
- (4) 交通安全施設整備事業 …… 交通危険箇所のグリーンベルト舗装
- (5) 防犯カメラ設置費補助事業 …… 防犯カメラ設置費の補助
- (6) 地域集会施設整備支援事業 …… 公民館等の修繕等の費用の上乗せ補助
- (7) 地域自治活動備品整備事業 …… 公民館等で使用する備品購入の補助

2 継続事業

- (1) 防災専門部会運営事業
 - …… 新城地域自治区全域における防災組織の運営
- (2) A E D普及推進・設置管理事業
 - …… 公民館やコンビニに設置したA E Dの設置管理
- (3) 高齢化社会対策事業
 - …… ピンコロの会への高齢者の日常生活支援等の委託
- (4) 子育て茶話会開催事業
 - …… こども園や小学校P T Aを対象に茶話会を実施
- (5) にぎわい創出事業
 - …… しんしろまちなか映画祭及び関連企画を開催
- (6) しんしろまちなか散策推進事業
 - …… 新城のまちなかを歩く人が増え、賑わいが生まれるよう検討を行う

3 新規事業

- (1) 地域計画推進事業 …… しんしろ地域計画を印刷し、全戸配付する
- (2) 保育所英語講師派遣事業 …… こども園への外国人講師の派遣

<主な意見等>

・地域自治区予算の検討をしていくにあたり、例えば、こども園や学校の整備や備品購入といったことについて、部外者が考える課題と関係者が感じる課題では違うと思うが、協議会委員に関係者がいない場合の情報を吸い上げられるような体制は出来ているのでしょうか。

⇒区長さんが各区の役員を通じて課題について聞きとりを行うのが現状の体制になります。

また、継続事業の「子育て茶話会開催事業」は、保護者同士の交流の場というだけでなく、困り事の聞き取りをするための事業でもあります。

・新規事業で、新城小学校の歴史資料館が耐震の関係で壊されてしまうのではないかと思う。地域にとっては思い出深いものなので、この協議会で考えていくことはできないでしょうか。

⇒不特定多数の人が出入りする資料館は優先的に対処しないととなりますが、小学校の歴史資料館はそうではないため、文化財保護という視点で教育委員会に相談してみたいかがでしょうか。

⇒自治区予算の流れとしては、まずは担当課へ相談を行い、優先順位等を理由に予算が付かないといった場合に、自治区予算の検討をしていただくものになります。まずは、担当課へその旨をお伝えさせていただきます。

⇒学校が管理を行う都合上、土日は閉館しています。なるべく多くの方に訪れて頂けるよう運営方法についても、学校を含めて様々な人で考えるようなことはでき

ないか。

⇒耐震にはかなりの費用が掛かってしまうので、地域自治区予算では難しいと思います。地域協議会として市（教育委員会）に話を持って行くのが良いと思いますので、私（会長）から市へ話をしてみます。

（3）地域自治区予算事業の提案等について

今後の協議会にて令和6年度の地域自治区予算を協議していくため、課題や解決策について意見交換を行った。

なお、いただいた意見等については、地域自治区予算分科会に一任いただき、整理していくこととなった。

以下、主な意見を記載する。

<主な意見等>

●英語講師派遣事業について

・新規事業として提案のあった保育所英語講師派遣事業について、本日、大野こども園に視察を行ってきた。外国の方が子どもと上手に関わりながら、子どもの主体性を育てるといった信念を持って取り組まれていることが伝わってきた。

講師は大きなアクションと前向きな言葉かけで、子ども達は落ち着きながらも顔はきらきらしていた。

英語講師派遣と聞くと英語の勉強といったイメージになるが、そういう事業であれば、私は自治区予算で扱うのは違うように感じます。無理なく遊びながら触れ合うということであればあっても良いように感じました。

⇒英語に限らず、いろんな人に触れ合う機会や可能性を与えてあげることは良いことだと思う。

成長するにつれて、学校に行けなくなってしまう子が身の回りにいるので、小さい子だけでなく、そういった子（小学校高学年や中学生）に対しての取り組みもあると良いと思う。

⇒事業名が堅いと思う。また、小さい子は歌や踊りで身体に染みこんでいくと思うので、継続していくことが必要と思う。小学校でも3年生から英語教育が行われていますが、英語の脳を作るのは0歳からだ聞く。

苦手意識を持つ子へのフォローも大切だと思う。

⇒園長先生の考え、主管課の考えは事務局で確認するのか。

⇒協議会で提案された事業については、主管課へ聞き取りを行い、実現可能か調整します。提案を受けた内容では難しくても、類似した内容で行えるのかなども合わせて調整をします。

今回の内容については、両園に相談し、調整は必要なものの受入は可能と返事はいただいている。

⇒本事業を採用するかを検討する中で、どれくらいの期間行うのか。また、目指すべき将来像に対しての評価と見直しを行う必要があると思う。

評価としても、子ども達がにこにこしているだけでは、予算が有効活用されたいとは言えないように思う。

⇒こども園のカリキュラムにおける位置づけをどうするのか。

現状、事業提案したような考えがない場合に受け入れてもらえるのか。調整してからじゃないと難しいように思う。

外国の方への抵抗感の様なものをなくす提案は必要だと思います。

必ずしも英語講師じゃなくても良いとは考えます。新城には他の言語圏の方もたくさん居ます。

⇒通わせてる側としては、子どもの経験に繋がるし、親がやるよりも子どもはより吸収すると思うので良いと思うが、言葉が違ってもコミュニケーションが取れる

とすることを学ばすのであれば、英語でなくても手話などでも良いと思う。
以前、こども園にて手話で聾者の方とコミュニケーションを取るという行事があり、様々な方法でコミュニケーションが取れるということを知り、子ども達が喜んでいただけると聞いた。

英語講師派遣事業については、どういう目的で行うのかによって、続けていく頻度などを考える必要はあるが、子ども達に身近にいないけど知ることができるということが伝えられたら良いと思う。

⇒保育園や小学校で外部講師を呼ぶ事業については、自治区予算でやるものなのか。主管課ではどのように考えているのか疑問に思う。

⇒主管課にお話しをしたことはありますが、現段階においては、全市的に取り入れるという考えは現状ありません。

また、今回の保育所英語講師派遣事業については、学力向上を目指したものではなく、昨今のグローバル社会に馴染み、外国人に萎縮しないような人材育成を行うため、幼少期から外国の方と触れ合う機会としての事業だと認識しています。

⇒事業内容からいうと「保育所英語講師派遣事業」ではなく、「英語で遊ぼう事業」といった名称が良いと思う。事業名の見直しが必要と思う。

⇒5月11日の地域計画分科会の要点録から、自治区予算における事業自体の効果検証は、市の担当部局が行うものであり、地域協議会は地域計画全体の進捗に対しての効果検証を行うと判断をしていますが、こうした一つ一つの事業について地域協議会で効果検証を行うことは難しいということでしょうか。

⇒地域計画は10年の計画であり、進捗を把握していくことが大切なことであると考えています。地域計画分科会に振っておきます。

●無形文化財「建物花火」

・無形文化財として東新町には「建物花火」がありますが、人物金といった全ての面で存続が困難な状況になってきています。

⇒物については、市の文化財保護法の中で支援があると思いますが、全額出してもらえないわけではないので、どうしても個人負担となってしまう部分がある。

●その他

・地域安全灯設置費補助事業については、各区長さんに調査を行っておりますが、いつまでに終わらすといった計画はありますか。

⇒橋向区については3ヵ年計画で進めており、来年度で完了する予定です。

⇒西新町区については、計画というものはありませんが、各組からの要望等はありません。

⇒今年度も各行政区の要望調査を行っておりますが、いつまでも要望調査を取り続けるというのは、違うかと思えます。今後の事業展開では、計画的に終わりを見据えて考えていく必要があると思えます。

⇒弁天区については、弁天住宅の敷地内は愛知県の実地調査が必要となるため難しい。愛知県の実地外については、弁天としては考えていません。

・交通安全施設整備事業という名称で、グリーンベルトを引く事業を地域自治区予算として計上していますが、経年劣化等により小さく剥がれてしまったグリーンベルトの破片は、環境面で問題とならないでしょうか。

⇒あまり良いとは言えないかと思えます。

舗装が経年劣化等によりボロボロになると、グリーンベルトも剥がれやすくなってしまいますので、そういった場所があれば、早めに担当部署へ連絡をするようにしてください。

・65歳以上の会議が多いが、年に1回くらいは若者議会（若者）と意見交換が出来るような機会は作れないか。

⇒担当へ意見はお伝えしておきます。

●ごみ問題

- ・新城市のゴミ収集について、カラスの被害がすごいので、市に方針を出していただきたい。
 - ・ゴミ袋の隅に生ゴミが入れるとカラスにつつかれてしまうが、ゴミ袋の中心に生ゴミが来るように配慮してもらえれば、被害は押さえられると思っています。そういう情報を広報紙などで伝えてもらえるだけでも違うと思います。
- ⇒徳定区には、アルミのゴミ集積ボックスが置いてあります。金額としては40万円ほど掛かるそうですが、千郷地域協議会から半額程度の補助が出ていると聞きました。
- しかし、栄町区では、補助があったとしても置くだけのスペースがありません。そのため、今の方式でしかやりようがないと思っています。
- ⇒本町区でもカラスの被害について話が出ます。カラスは目が良いので、ゴミを新聞広告などで包むことを地域で徹底していることで被害は防げています。
- ⇒ゴミ捨て場の網が黄色なのは、カラスが苦手な色だからと言われていますが、ゴミを突かれる被害は出ています。
- ピアゴの駐輪場にはカラスのおもちやが吊されており、それなりの効果があるそうです。
- ⇒新城地域協議会にて採択されれば、ゴミ集積ボックス等に対する補助金を設けることは可能です。
- また、ゴミ集積ボックス等を置く場所については、川田地区でも同様に課題となっておりましたが、折りたたみ式のゴミ集積ボックスで対応をしているようです。
- ・地区によっては個別（家の前）にゴミ収集の対応をしてくれている所もあるが、その判断等について市の考え方を聞いてみたいという思いはあります。
 - ・他地区の方で通勤途中でゴミを捨ててく人もおり、そういった方のゴミが荒らされた事があったため、ゴミ集積位置を変更したことがあります。ゴミ集積位置の変更等をする場合には生活環境課への届け出が必要となります。

3 その他

事務局より7月スケジュール及び配付資料について説明を行った。